

平田村産業振興施設等設計業務委託に係る
公募型プロポーザル審査結果及び講評

令和6年8月19日

平田村産業振興施設等設計業務委託に係る公募型プロポーザル審査委員会

1 選定結果

契約候補者	受付番号 C	株式会社土田建築設計事務所	評価点合計 1445.2 点
次点候補者	受付番号 B	株式会社水上設計	評価点合計 1439.5 点

2 選定概要

(1) 選考方法

設計者の選定については、公募型プロポーザル方式を採用し、平田村産業振興施設等設計業務委託に係る公募型プロポーザル実施要領に基づき、参加資格を満たす者を公募により募集した。

審査にあたっては、平田村産業振興施設等設計業務委託に係る公募型プロポーザル審査委員会による 1 次審査及び 2 次審査を経て契約候補者及び次点者を選定した。

(2) 参加事業者

4 者

(3) 1 次審査

1 次審査では、参加事業者から提出された提出書類により、平田村産業振興施設等設計業務委託に係る公募型プロポーザル実施要領に基づき、事業者が提出した書類を審査した。

事務局は 1 次審査書類の提出のあった事業者がプロポーザル実施要領の参加資格要件を全て満たしていることの審査及び業務遂行能力等、見積価格を採点し、審査委員会は提案内容の審査を行った。提案内容の採点は、評価項目ごとに審査員が行い、委員全員の合計点により総合評価を行った。

同審査の結果、各者の得点が拮抗していたことから、参加事業者 4 者すべてを 2 次審査に進む者として決定した。

(4) 2 次審査

2 次審査では、1 者あたり 15 分のプレゼンテーションおよび 15 分のヒアリングの計 30 分とし、アルファベット順に行った。ヒアリング終了後、技術提案書に加えて、プレゼンテーションの評価を付加して総合的に評価した。

その結果、評価点（180 点満点）の最も高い提案者を契約候補者に、第 2 位得点となった 1 者を次点候補者として選定した。

3 審査委員会委員の構成（順不同、敬称略）

役 職	氏 名	所 属 等
委 員 長	廣 田 篤彦	日本大学工学部 建築学科 教授
副委員長	三本松利政	平田村 副村長
委 員	長 島 敏彦	一般財団法人ふくしま市町村支援機構 建築設備部長
委 員	高 橋 岳志	日本大学工学部 建築学科 助教
委 員	坪 井 和幸	平田村 総務課長
委 員	瀬 谷 貴之	平田村 企画商工課長
委 員	阿 部 喜彦	平田村 産業建設課長
委 員	吉田恵美子	平田村 議会事務局課長補佐
委 員	舘 好泰	平田村 税務課副主査
委 員	古 川 俊信	平田村 産業建設課副主査
委 員	根 本 摩哉	平田村 産業建設課副主査

4 選定の経過

日 時	内 容
令和6年6月 3日（月）	公募型プロポーザル公告
令和6年6月12日（水）	参加申込書の提出及び資料の貸与締切
令和6年6月14日（金）	1次審査に関する質問書受付期限
令和6年6月18日（火）	1次審査に関する質問書の回答書公表
令和6年7月17日（水）	1次審査書類の提出期限
令和6年7月25日（木）	1次審査
令和6年7月26日（金）	1次審査の結果通知
令和6年8月 5日（月）	2次審査
令和6年8月19日（月）	2次審査の結果通知

5 審査講評

4 者の提案を比較すると、村の観光交流拠点であるジュピアランドひらたの象徴的な施設として、全天候型野外ステージや多目的施設を建設することでの、交流人口の創出と観光客の回復、地域経済の活性化を図る目的については、いずれも熱意ある提案であった。全天候型野外ステージや多目的施設の部分については、カフェスペースや楽屋機能を有するなど、村の多様な要望を反映した創造的な提案が数多く見受けられた。いずれも説得力があり、優劣つけがたいほど質の高いものであった。

その中で契約候補者の提案は、技術提案の「創造性と独自提案」、「建築費とランニングコストの低減」、「環境への配慮」の評価基準について評価が高かった。また、多目的スペースの活用について4つの利用パターンを明示したことで、より施設の活用方法を具体的にイメージ出来たことや、風のプロムナードを重要視した配置計画とし、駐車場からの見え方やアクセスについても配慮がされていた部分が高く評価された。さらに、プロジェクト実行に向けたプロセスがプレゼンテーションの中で明確に示されたことや、ランニングコスト低減のための具体的な提案を受けたことなどにより、最高得点を得た。

一方で、倉庫及び楽屋部分の案については、芝桜側の眺望が幅広く望めない点について懸念があり、設計段階での検討が必要との意見もあった。

次点候補者の提案は、技術提案の「安全と安心の確保」について高い評価を得ていた。全体的にバランスのとれた提案であり、大屋根を基調とした野外ステージと芝桜を一望できる多目的施設との関係性については評価が高かった。また、北側に配置した提案については、観光交流の拠点としてイベントでの集客を強く意識したものであったが、大屋根の柱や北側配置により見え方の制限が生じることなどから、最高評価を得るまでには至らなかった。

以上、契約候補者と次点者を選定したが、その他の事業者についても随所に魅力的な提案が散見された。各提案者の多大なるご尽力に感謝申し上げるとともに、産業振興施設等建設工事がジュピアランドひらたの新たなシンボルとして寄与することを心より希望する次第である。

平田村産業振興施設等建設工事設計業務委託に係る
公募型プロポーザル審査委員会

審査委員会 委員長 廣田 篤彦